

中小機構の施策紹介

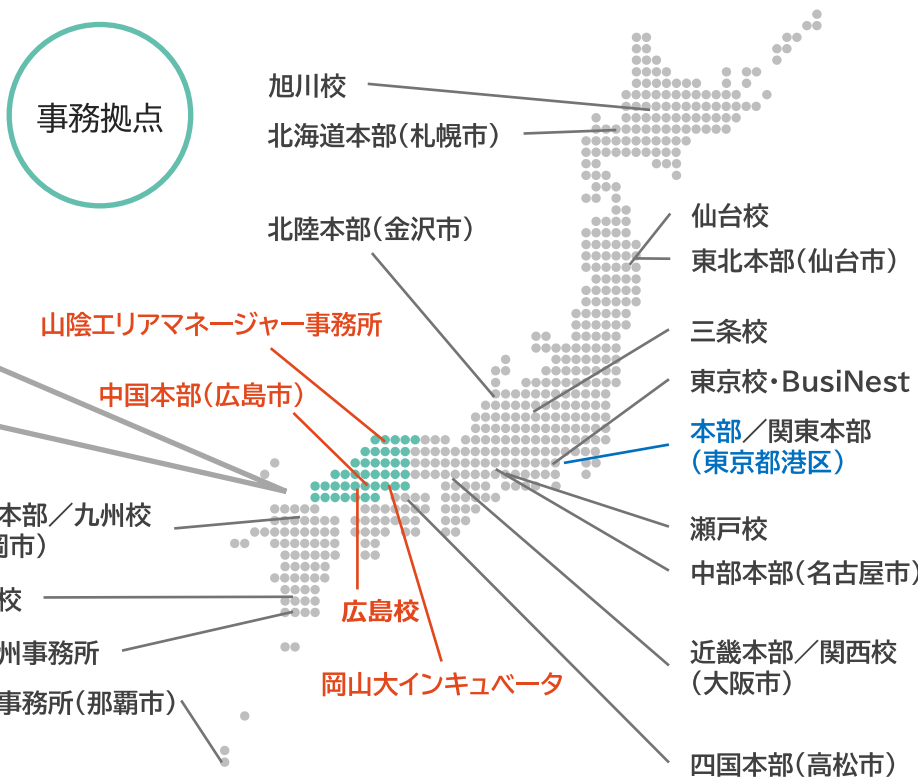
2026年7月15日

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中国本部

中小機構は、東京(虎ノ門)に本部があり、全国に地域本部が9ヶ所、中小企業大学校9校、他事務所を有し、中小企業をサポートしています。

- **名称**
独立行政法人中小企業基盤整備機構（略称:中小機構）
経済産業省(中小企業庁)所管の中小企業政策実施機関
- **設立**
2004年(平成16年)7月1日
(中小企業総合事業団、地域振興整備公団、産業基盤整備基金の三法人が統合)
- **目的**
国の中小企業政策の中核的な実施機関として、起業・創業期から成長期、成熟期に至るまで、企業の成長ステージに合わせた幅広い支援メニューを提供しています。
- **理事長**
宮川 正
- **拠点**
本部(東京都港区虎ノ門)、地域本部、中小企業大学校
- **人数**
職員:約800名、専門家:約3,000名
中国本部は、職員:約30名、専門家:約150名(広島校含む)

中国本部の支援拠点 (3拠点+広島校)



価格転嫁検討ツールについて

価格転嫁の必要性が“どのくらい”かみえる
“価格転嫁”検討ツール

- ① 商品別の収支状況を把握
- ② 数値を入れ替えて検証
- ③ 目指すべき取引価格を試算

価格をはじめめる
（無料）
※パソコン(PC)用

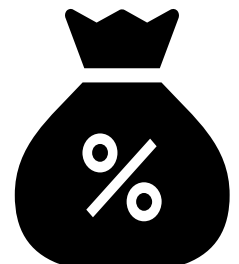
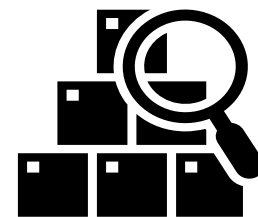
スマホ版



Web
簡単
登録
不要
無料

価格転嫁をする前の第一歩として…

- 1 現在の収支について概況が見える化
- 2 過去と現在のコストを簡単に比較できる
- 3 目指すべき価格を確認



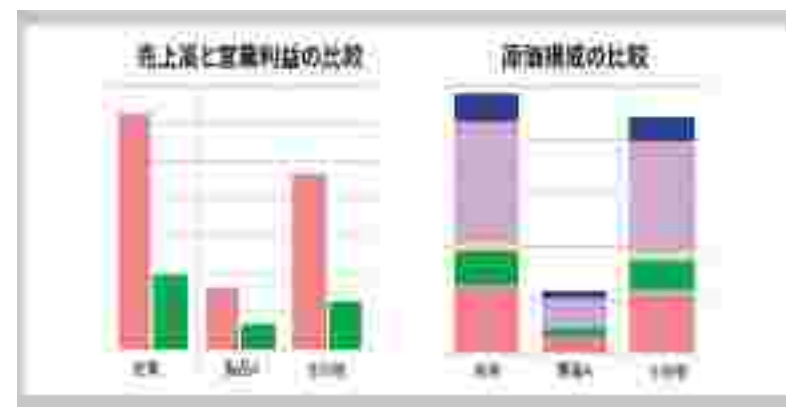
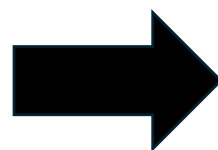
利用にあたってご用意いただくもの

■ 損益計算書

■ 分析対象とする商品・取引先別の売上高、コストに関する情報



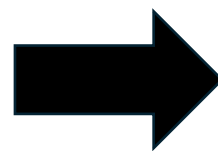
1 コスト高騰前の情報を入力



2 現在の情報を入力



3 コスト高騰前の情報を入力



4 参考価格の確認

儲かる経営キツク君について

利益を得るための売上高をシミュレーションできる

儲かる経営 キツク君

※ 加盟店は保証あり

- ① 商品・取引先ごとの収支を把握できる
- ② 伸ばすべき商品・取引先が分かる
- ③ 価格設定の目安を統計できる
- ④ 利益を確保する事業戦略を検討できる

無料で始めよう

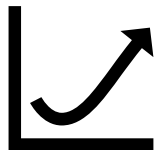
※ 本サービスは、加盟店のみが利用できます。



業種別に入力 Webで簡単 登録不要

利益確保のために、ビジネスの数字を見える化しませんか？

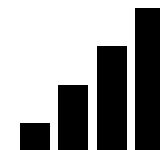
過去と現在の2期分
決算書を入力



取引先・商品ごとの
コストを入力



商品・取引先ごとの
利益やコストを
シミュレーション



利用にあたってご用意いただくもの

■損益計算書

■分析対象とする商品・取引先別の売上高、コストに関する情報



1 過去と現在のコストを比較



2 商品・取引先ごとのコストを見える化



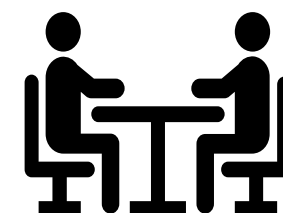
3 商品・取引先ごとの目標価格の設定

	価格転嫁検討ツール	儲かる経営キツク君
<対象>	これから価格転嫁にしたい事業者の方向け	商品や取引先ごとの利益改善や戦略を考えたい事業者の方向け
<分析>	商品・取引先の収支概況	複数の商品・取引先の収支比較・分析
<成果>	価格転嫁すべき参考価格の把握	いずれの商品を伸ばすのか、縮小するのかの検討材料
<ねらい>	価格転嫁の第一歩	原価管理や管理会計の入口

※儲かる経営キツク君は月別で入力いただく使い方もあります。

■価格転嫁検討ツール、儲かる経営キツク君を利用いただく方へ

数値の見える化や経営判断については中小機構や各支援機関の相談窓口を併用いただくことをおすすめいたします。



IT活用ツールについて

デジwith

デジウイズ

こんなお悩みを解消します

Problems



◆IT活用について**知る**、**使う**、**相談する**、**補助金情報**という様々な目的に応じてご利用いただけるメニューを網羅的に掲載しているサイトです。

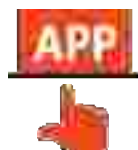
知る

使う

相談する

IT戦略ナビwith

同業他社比較マップ・IT戦略マップで
デジタル経営への道を開こう！



ここからアプリ
Coco APP



IT経営サポートセンター

- 自社の課題を見える化し、有効なITソリューションが確認できる自己診断ツール
- Web上で短時間（5分）で「IT戦略マップ」が作成できる
- 手軽に何度でも無料で利用可能。自己診断を通じた課題整理がメイン



同業他社比較マップ



IT戦略マップ



課題の見える化

経営課題から業務課題、これらの解決策まで、マップで「見える化」されます。



IT導入の意思統一ツールになる

課題解決に必要なITソリューションとスケジュールが示され、導入に向けた社内の意思統一が図られます。



社員のモチベーション アップツールとして使える

導入や運用に向け、社員がITの活用目的を意識し、モチベーションアップにつながります。



- 中小企業の業務分野に適したビジネス用アプリをご紹介します。
- 中小企業向けに、実際にITツールの導入事例や分野別の特集記事を配信しています。
- 支援機関向けに、支援事例やミニ講座動画等、お役立ち情報を配信しています。



IT経営サポートセンターとは (<https://it-sodan.smrj.go.jp/>)

- 中小企業・小規模事業者のIT活用・導入について気軽に相談できる、無料のオンライン面談サービスです。(事前予約制:60分/回)
- 実務経験豊富なIT化支援アドバイザーが、中小企業・小規模事業者のIT化にまつわるさまざまなお悩み解決に向けてサポートします。
- 「IT化の進め方がわからない」「自社にあったITツールを探したい」「もっと有効活用したい」など、事業者の状況に応じて課題の整理や実践的な助言・情報提供を行います。

実務経験豊富なITの専門家が
オンライン面談でお悩みを解決します。



✓ 無料 ✓ オンライン
✓ 60分 ✓ 予約制

「IT経営サポートセンター」は、中小企業・小規模事業者の
経営支援に取り組む支援機関の方もご利用いただけます

IT化支援アドバイザー派遣とは

〇ITの活用やシステム(アプリの導入)等を通じて、業務改善や効率化を目指す事業者へ
専門家が**最大3回(無料)の現地訪問**を通じて支援を行う施策です。

以前にITツールを
導入したが、
結局使いこなせなかった

導入検討している
システムが自社に
合うかわからない



ベンダー(業者)へ
外注するほどではないが、
自社でITを活用したい

ご支援の流れ (内容は一例)



省力化ナビについて

経営上の大きな課題としてあげられる人手不足・・・
普段の業務で手間や負担を感じているが、「何からはじめてよいかわからない」
そうした事業者様をサポートするツールです

省力化ナビ

トップ 省力化ナビとは 事例一覧



省力化・生産性向上への第一歩
今から始めませんか？

省力化ナビ

- 無料でカンタン、4ステップだけで解決策のヒントが見つかる
- 業種別に特化した取組方法や事例もご紹介

ここから始める



業種別のお困りごとに対応

2026年3月末 公開	● 飲食業 ● 宿泊業 ● 小売業	● 理容・美容業 ● 自動車整備業 ● 製造業	● 運輸業 (トラック・倉庫) ● 建設業 ● 業種共通 (バックオフィス業務)
2026年8月 公開予定	● クリーニング業 ● ビルメンテナンス業	● 冠婚葬祭業 ● 運輸業 (バス・タクシー)	● 警備業

省力化ナビの使い方

業種の選択

フォームに沿って
いくつかの質問に答えるだけ

- ☒ 業種
- ☐ 所在地
- ☐ 従業員数
- ☐ 事務所数
- ☐ 資本金 (任意)
- ☐ 売上高 (任意)

※支援機関の方は支援機関名を選択

簡易チェック

業種別によくあるお悩みを
イラストで提示
気になるキーワードをチェック

Before (現状の課題)



解決策の例やヒントをイラストで表示

- 解決策別のポイントやアドバイス
- 設備決定やアプリ、導入費用の紹介
- 補助金や相談窓口の紹介
- 取組事例の紹介

After (あるべき姿・解決後)





各項目をクリックすると…

- 導入ツール候補
 - 取り組み事例
 - 活用できる補助金
- が確認できます。

※省力化ナビを利用することで以下の補助金で**加点措置**が受けられます。

- ・中小企業省力化投資補助金(一般型)
- ・デジタル化・AI導入補助金(複数者連携デジタル化・AI導入枠を除く)

中小企業みなさまに、 寄り添い続ける存在でありたい。

私たちは知っています。

胸の中で温めてきた夢業のアイデアを、カタチにする意欲を。
知識は小さくとも、熱意に事業を前に進める経営者の情熱の思いを。
時代にもれた中受は遅れた柱を、次の世代に伝えようとする意欲を。

中小機構は、国の中小企業政策の中核的な実施機関として、

時代を足つめながらみなさまに寄り添い

中小企業・小規模事業者の力に寄り添い続けるとす。

そして、目の前に課題があるのであれば、

あらゆる支援策をコーディネートし、壁を越える方法を共に考える。

個性豊かな日本の中小企業が、その能力を最大限に発揮できる日まで。

私たちはみなさまと寄り添い、寄り添い続けようと思います。



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中国本部

地域・連携支援部 地域・連携支援課

電話：082-502-6688

メール：renkeishien-chugoku1@smrj.go.jp